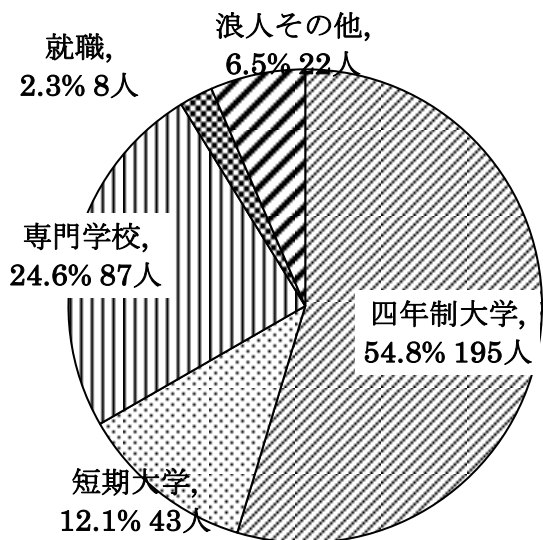


# 学校新聞 芥川

## 36期生進路状況

進路指導部長



今春卒業した36期生の進路先は、大学進学者が55%、短大が12%、専門学校25%とほぼ昨年同様の割合でした。学部・学科やキャンパスの新設などの変化を生徒たちが敏感に感じ取り、受験する大学名にもさらに変化が見られます。しかし、私立大学入学定員厳格化の影響を受け、全体的には厳しい結果となりました。中でも近畿圏の主要私大合格数が減少し、早めの受験対策の必要性が感じられました。また4年目となったグローバル専門コースは、76%の生徒が外国語・国際系学科への進学を果たしました。看護・医療系では79%の生徒が看護・医療系の学校へ進み、理系コースは、物理、化学、機械、電子など様々な学科に進学しています。各コースの充実を感じる結果となりました。就職は希望者全員が就職を決め、地元高槻市や近隣地域・県外など日本全国で幅広い分野の職場でがんばっています。一方、自分の得意分野をさらに深めたい、また、進学をめざしてもう一年がんばるといふ道を選んだ生徒もやや増加しました。

36期生は、「2年生の3学期は3年生のゼミ学期」というフレーズに素直に応じ、2年生での模擬試験受験者が昨年に引き続き大変多かったのを覚えています。2年生から始めて、徐々に勉強のペースや進路意識を高めて目標に近づいていきました。自分にふさわしい受験方法を上手に選んだ生徒、何度も同じ学校を受験し最後に合格した生徒など、皆それぞれよく頑張ってくれたと思います。

## 先輩の話を聞く会 報告

進路指導部

2月26日(月)、進路が決まった3年生の代表20名が、1年生(38期生、現2年)の各HR教室に来て、話をしてくれました。内容は「高校時代にどんなことをしたか」「進路について考えて始めてから目標の設定、目標達成までの経緯」「努力したこと、つらかったこと、うれしかったこと」「後輩へのメッセージ・アドバイスなどについてです。身近な先輩の体験談に、1年生は熱心にメモを取りながら聞いていました。



「勉強してもすぐに模試などで結果が出るとは限らないけれど、あきらめてしまったら大学生になつたときに後悔すると思うから、あきらめないでほしい。」「色んな学校のオープンキャンパスに行くべし。決まっていなくても興味が出てくる。」「授業は大切にして定期テストは毎回気を抜かず頑張りなさい。」などの熱い言葉が寄せられました。

1年生の感想には、「自分があきらめなければ、どうにかなる」と言っていたのが印象的で、自分にはあきらめがちなので、あきらめずに何事もがんばろうと思います。「やっぱりオープンキャンパスは何度も行くのと良いと思った。自発的に行動していくのが大切なんだと思う。」「奨学金は意外にも深刻な借金だと知った。」「1日に8〜10時間の勉強はすごいと思いました。」「単語と漢字を明日からでも良いので覚えろ」という言葉が心にひびきました!」等あり、しっかりと受け止めていたようです。

## 前期生徒会執行部が発足

特別活動指導部長

4月26日(木) 前期生徒会役員選挙が行われました。体育館での立会演説会では、立候補者が生徒会活動への意欲や思いを訴えました。引き続き、各クラスで投票を行い、選挙管理委員による厳正な開票作業の結果、全員信任されました。生徒全員が生徒会の構成員です。みなで新執行部を盛り上げてほしいと思います。

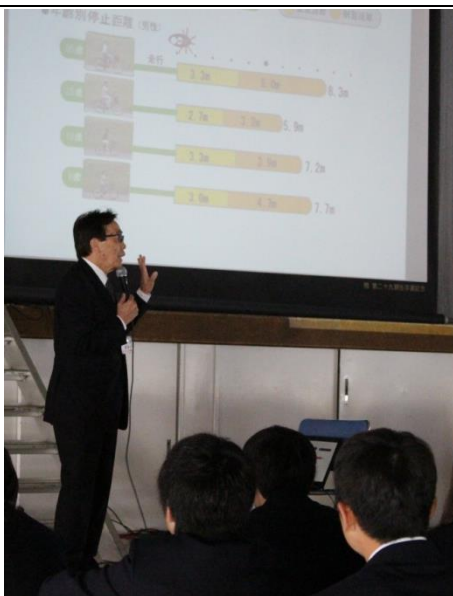
## 前期生徒会執行部

- 会長
- 副会長
- 副会長
- 書記
- 書記
- 会計
- 会計

## 1年生 交通安全講習会

生徒指導部

4月10日(火) 6限目のLHRの時間に、茨木ドライビングスクールの斎藤様にお越しいただき、交通安全について講習をしていただきました。登下校で自転車を使用する生徒が多いので、みんな真剣な表情で話を聞いていました。実際の自転車事故の映像や、危険が潜んでいる状況の説明、そして事故に巻き込まれる(被害者)だけでなく、自転車に乗ることで、事故を起こしてしまう(加害者)になってしまう可能性があること、その場合どのような罰則があるのかなど非常にわかりやすく説明していただきました。生徒たちも講習を聞いてこれからの生活に生かしてくれると思います。



## 芥川高校後援会に協力ください

後援会は、会費・寄付金・募金を集め、芥川高校の生徒のために支援してくださっています。後援会の活動にご理解とご協力をよろしく願います。

